

体格に応じて生活習慣が腎機能・心血管病・フレイルに及ぼす影響に関する研究

1. 研究の対象

2019年1月～当院人間ドックを受診された症例

2. 研究目的・方法

生活習慣病は、糖尿病、高血圧、脂質異常症などを含み、これらが重症化すると心血管疾患や腎機能障害といった深刻な合併症を引き起こす可能性がある。生活習慣改善は、腎臓病のみならず他の生活習慣病全般の予防に寄与することが期待される。一方で、現代社会では仕事や家庭の事情などの要因により、こうした生活習慣をすべて厳守することはしばしば困難である。

本研究では、当院の人間ドック受診者集団を対象として、生活習慣因子と腎機能障害および蛋白尿の発症・進展との関連を評価することを目的とする。また、近年注目されているフレイルとも関連づけて検討を行い、生活習慣指導の科学的根拠をより一層明確にすることを目指す。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、併存疾患の状況、生活習慣など問診内容、身体所見、各種画像検査結果 等

試料：血液・尿検体 等

4. 外部への試料・情報の提供

当院内でデータ解析を行いますので、外部への提供はありません。ただ、資料の測定のため外注検査を依頼する場合がありますが、個人情報は保護されます。

5. 研究組織

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 村津 淳

研究代表者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 村津 淳

(2023年7月4日)